

今後のVOC排出抑制のための自主的取組における取組の
目指すべき方向性及び方策について
(個表)

目次

日本ガス協会	p 1
日本染色協会	p 2
日本製紙連合会	p 3
日本鉄鋼連盟	p 4
電機・電子4団体	p 5
日本塗料工業会	p 6
日本自動車部品工業会	p 7
日本自動車工業会	p 8
線材製品協会	p 9
日本伸銅協会	p 10
全国鍍金工業組合連合会	p 11
日本電線工業会	p 12
日本アルミニウム協会	p 13
日本建材・住宅設備産業協会	p 14
天然ガス鉱業会	p 15
石油連盟	p 16
日本化学工業協会	p 17
日本印刷産業連合会	p 18
ドラム缶工業会	p 19
軽金属製品協会	p 20
日本プラスチック工業連盟	p 21
日本オフィス家具協会	p 22
日本表面処理機材工業会	p 23
日本自動車車体工業会	p 24
日本接着剤工業会	p 25
プレハブ建築協会	p 26
印刷インキ工業連合会	p 27
日本工業塗装協同組合連合会	p 28
日本ゴム工業会	p 29
日本自動車車体整備協同組合連合会	p 30
日本粘着テープ工業会	p 31
全国楽器協会	p 32
日本釣用品工業会	p 33
日本金属ハウスウェア工業組合	p 34
日本金属洋食器工業組合	p 35
日本ガス石油機器工業会	p 36
その他	p 37

(方向性と方策)

平成 28 年 7 月 1 日

団体名：日本ガス協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された 4 つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として 5 年後（又は 3 年後）に少なくとも平成 22 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成 17 年度にナフサ使用設備の高カロリーガス化転換を完了し、平成 18 年度以降排出はありません。引き続き、現状を維持してまいります。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

前述のように、平成 18 年度以降排出はありませんので、今後、特別な実施予定は特にありません。

(方向性と方策)

平成28年7月19日

団体名：(一社) 日本染色協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後（平成27年度実績）において、平成22年度よりもVOC排出量が増加しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ 溶剤（VOC）を使用する薬剤から水溶性薬剤への転換
- ・ 生産プロセスの見直し

(方向性と方策)

平成28年7月29日

団体名：日本製紙連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

- ①自主行動計画では排出量の多かった5物質のみを管理していたが、現在は排出している全ての物質(現在68物質)を管理しており、これを継続する。
- ②今後とも2010年度比で悪化しないように努める。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①薬品の代替化
- ②製造工程の管理強化

平成28年8月3日

団体名：一般社団法人日本鉄鋼連盟

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当連盟では、平成17年にVOC排出抑制に関する自主行動計画を策定し、会員会社における自主的取組を促進した。その結果、同取組の目標（※）を大きく上回る排出削減（約56%減）を達成した。

これを踏まえ、平成23年度以降は会員各社のVOC排出状況のフォローアップを行っており、当該フォローアップの継続等を通じ、当業界の平成22年度の排出状況を悪化させないように引き続き努めることとする。

なお、本方向性等については、3年後を目途に必要な応じ見直しを行う。

※当連盟自主行動計画の目標：

VOC排出量を平成22年度までに平成12年度比で30%削減。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

会員各社におけるVOC排出状況のフォローアップを行い、全体としてVOC排出量が増加する傾向が見られる場合は、要因分析を行うとともに、VOC排出量が増加傾向にある会員会社のVOC排出抑制の取組状況のヒアリング等を実施する。

(方向性と方策)

平成28年7月29日

団体名：電機・電子4団体

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

電機・電子4団体*として平成30年度に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。

*電機・電子4団体：

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

一般社団法人 電子情報技術産業協会

一般社団法人 日本電機工業会

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスや材料の見直し、作業の合理化。

平成28年7月25日

団体名：日本塗料工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

1. 一般社団法人 日本塗料工業会(日塗工)は改正大気汚染防止法の施行(平成18年4月1日)に先立って、平成15年12月から「塗料・塗装によるVOCの排出抑制」に取り組んでおり、合わせて塗料の出荷量からVOC排出量を推計し、その結果を毎年報告している。塗料からのVOC排出推計量は、基準年度である平成12年度の535千トンに対し、平成22年度は294千トンと45%削減、平成26年度は274千トンとなり49.0%削減された。

今後もVOC排出量推計を継続し、塗料・塗装によるVOCの排出抑制に取り組む。具体的には、平成22年度比で悪化しないよう漸減を目指す。各分野においてVOC削減の努力は引き続いてなされており、期限は当面定めない(現時点で無期限)。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1. 日塗工では技術委員会のもとにVOC排出抑制分科会を設置し、業界一丸となってVOC排出抑制に取り組む。

- (1) 生産プロセスの見直し、タンク等からのVOC揮散低減
- (2) 塗料のハイソリッド化、水性化の推進によるVOCの削減
- (3) 塗装方式等の改良によるVOC排出削減

2. 日塗工の出版物、日塗工主催の各種セミナー、塗料産業フォーラム等を通じて業界、取引先などサプライチェーン全体で取り組まれるよう普及・広報に努める。

平成28年7月29日

団体名：一般社団法人 日本自動車部品工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成22年度の状況を平成32年度においても維持していくよう、平成22年度までに取り組んだ内容を今後も継続実施するとともに新たな方策も加え推進する。また、会員会社へ積極的に改善策を啓発していくことで、排出状況を悪化させないように努めることとする。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①VOCの排出抑制に繋がる平成22年度までの生産プロセスや作業方法の導入等の削減対策の情報共有をはかり、抑制対策の推進を行う
- ②材料変更や生産プロセスの効率化等の見直し、作業の合理化を行う
- ③業界や取引先などサプライチェーン全体で取り組まれるような事例等の周知を継続実施する

(方向性と方策)

平成28年10月31日

団体名：(一社) 日本自動車工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

自工会全体として、2020年度のVOC排出量原単位(g/m2)を、2010年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

取組みの方策	具体的事例
①塗着効率向上	高塗着効率ガン導入、ホットティンク見極め、手吹き補正塗装削減による塗着効率向上
②洗浄シナー対策	シナー回収率向上対策(ホップ大型化、回収ホッパー及び配管メンテナンス性向上等見直し)
③カートリッジタイプ塗料の採用	カートリッジ壁掛け塗装ホット導入
④ハイソリッド塗料の採用	低VOCクリア塗料導入
⑤水系塗料の採用	水系塗装ライン導入、プライマー、ベースの水性化、電着1コート化
⑥その他	塗装プログラム最適化による吐出低減、3C2B塗装、RTO設置、色替洗浄経路の短縮、脱臭炉設置 他

(方向性と方策)

成 2 5 年 9 月 3 日

団体名：線材製品協会

1. 取組の目指すべき方向性

※別添「考え方」の2.(1)「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後(又は3年後)に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

5年後(平成30年度)において、平成22年度対比で悪化しないよう継続してVOC排出抑制に取り組むこととする。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、別添「考え方」の2.(2)「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

既存施策(VOC回収装置の稼働、一部VOCを含まない溶剤・接着剤の使用)を継続するとともに、VOCを含まない溶剤・接着剤の開発・導入・適用の拡大を図る。

(方向性と方策)

平成28年7月14日

団体名：(一社) 日本伸銅協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

業界全体として、5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①一義的にはコストダウンを目的とするものの、結果的にVOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法を導入してゆく。
- ②代替品への切替を必要に応じて推進する。

平成28年7月22日

団体名：全国鍍金工業組合連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全国鍍金工業組合連合会では、平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続しており、平成22年度の排出量は平成12年度比30%減の国の目標を達成（37.6%減）したものの、21年度比より増加した。
平成23年度以降の排出量は平成21年度を下回っており、今後5年後（平成33年度）に少なくとも平成21年度より悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

今後も排出削減の自主取り組みは継続する。個々の事業所においては、これまでにプロセスの見直しや、作業方法の改善等、具体的には下記の方法が検討され、推進している。

①生産プロセスの見直し

- ・使用の廃止を目標に掲げる。 ・代替品の検討
- ・処理対象品の見直しや制限 ・顧客への働きかけ 等

②VOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法の導入、改善

- ・洗浄槽のこまめな蓋閉めの励行
- ・同上のこまめなヒーターのON-OFFの励行
- ・局所排気の適正化 ・冷却管のメンテナンス ・作業時間の制限 等

個々の事業所において今後ともこれらの改善努力を継続していくこととする。

(方向性と方策)

平成28年7月15日

団体名：(一社) 日本電線工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当業界としては、これまでも積極的にVOC削減に取り組んできており、今後（少なくとも3年後）も平成22年度レベルを悪化させないよう毎年VOC排出量のトレースに努める。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOC排出量抑制に向けて、今後も会員社において、作業・工程の見直し、代替品の検討等を進める。

平成28年7月22日

団体名：一般社団法人日本アルミニウム協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

近年PM2.5等の状況から明らかのように、周辺国からのVOCの流入はまず排除すべきであり、また植物由来のVOCの影響も正当に評価すべきとは認識しつつも、当協会では、基準年度の平成12年度比で排出量削減率65%を目標に自主行動計画に取り組み、平成23年度に削減率85%を達成した。その後は、平成22年度のVOC排出量（343トン）より悪化しないように取り組みを続け、平成26年度まで継続してこの値を下回る排出量を維持している。

平成28年度以降の5年間も、引き続き平成22年度比でVOC排出量が悪化しないように取り組む。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①VOC関連法令を遵守するとともに、法の趣旨を尊重した活動を継続する。
- ②VOC排出抑制に資する生産工程の合理化改善を継続する。
- ③生産工程でのVOC排出抑制が可能なエコ製品をユーザーへ提案する。
- ④VOC排出抑制に資する情報があれば、協会内委員会でも情報交換と周知を図る。

平成28年7月22日

団体名：(一社)日本建材・住宅設備産業協会

1. 取組の目指すべき方向性

(記入欄)

- ・今まで取り組んできた内容を、継続実施するほか、設備改善の際には、排出状況の改善にも資する様配慮するなど努力する。
- ・平成32年度の目標値として、少なくとも平成22年度比で悪化しないよう取り組んで行く。

2. 取組の方策

(記入欄)

上記実現のため、引続き下記の対策を実施していく予定です。

◎使用量の削減

- ・塗装及び接着用途における代替物質への切り替え
- ・塗装工程及び接着工程における使用量原単位の維持
- ・水系塗料などへの塗料種類の変更
- ・塗着および塗布効率、歩留まりの向上
- ・ユリア・マミン系接着剤の接着力向上による接着剤使用量の削減
- ・プロセスの変更などを検討する場合には、VOC排出に関して充分配慮しつつ取り進める。

◎排出量の削減

- ・塗料、溶剤、接着剤の低揮発製品への代替化
- ・塗装工程における洗浄用溶剤の回収強化
- ・VOC含有率の低減化が図られている塗料を検討する
- ・内添式キャッチャー剤の導入検討および検査工程でのキャッチャー剤塗布
- ・新規キャッチャー剤の検討
- ・低ホルムアルデヒド接着剤の改良
- ・非ホルムアルデヒド系接着剤への切り替えと改良

(方向性と方策)

平成 2 8 年 7 月 1 9 日

団体名：天然ガス鉱業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された 4 つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として 5 年後（又は 3 年後）に少なくとも平成 2 2 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体の排出量を当初の削減目標をクリアした平成 23 年度の排出量以下を維持するように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

自主行動計画の取り組みとして特定した 4 つの排出源（原油貯蔵タンク、グライコール再生装置、脱炭酸ガス装置、原油積出装置）に関して実施した対策による削減量を維持するべく、それぞれの除去装置等の適正な運転管理及びその他操業管理等による削減対策を継続し、排出量削減を維持する。また、放散を伴う作業においては、放散量をできる限り削減できるような作業計画のもと作業を実行する。

平成 28 年 6 月 28 日

団体名： 石油連盟

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された 4 つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として 5 年後（又は 3 年後）に少なくとも平成 22 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ これまでに有害大気汚染物質対策・炭化水素排出削減対策として取り組んできた対応を踏まえ、引き続き VOC 排出抑制の継続に努め、総排出量が平成 22 年度レベルから悪化しないように取組を維持する。
- ・ 「全体としては少なくとも平成 22 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」ことの取り組みについては、経済活動量に影響もあることから、複数年度の排出量の平均値で評価することが適当と考える。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ これまでに実施してきた大気中への炭化水素系物質排出削減のための各種対策に関連する施設・設備の適切な維持管理を行い、引き続き削減効果を維持していくと共に、可能な範囲で VOC 排出量の少ない設備を活用できる様な流通の合理化等を図り、排出抑制に努める。
- ・ フォローアップとしては、これまでの VOC 排出量削減自主行動計画の排出総量把握・報告を経済産業省を通じて継続していく。

平成28年7月20日

団体名：(一社) 日本化学工業協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

【考え方】

- ①平成22年度までに取り組んだ内容を今後も継続して実施し、排出状況を悪化させないように努める。
但し、経済活動量の大幅な増加やトラブル等による例外的な状態ではなく、通常状態を前提とする。
- ②定量的かつ統一した数値目標は設定しないものの、会員企業の自主的な設定とする。
- ③経済的取組みや職場環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。

【目指すべき時期・方向性】

「平成30年度までに平成22年度比で悪化しないように取り組む」

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①これまで取り組んできたVOC排出抑制対策を講じた設備・機器の運転・維持管理の強化
- ②生産設備・機器の安定運転の維持、安全運転の強化
- ③設備・機器での「運転方法改善、排ガス回収・再利用、プロセス合理化などの省資源の取り組み」「有機溶剤取扱設備での作業環境改善」などを通じたVOC排出抑制の推進

平成28年7月29日

団体名：(一社)日本印刷産業連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成22年度の印刷業界のVOC排出削減率は、産業界の実績56%を上回る63%、削減量72,800tとなっている。今後は、全体として5年後に、平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

※参考 平成26年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲87,300t ▲76%
平成27年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲91,000t ▲79%

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

基本的に、業界で策定した環境配慮基準であるグリーン基準、この基準に基づいて創設したグリーンプリンティング認定制度を核として取り組んでいく。各事業所における環境負荷低減のための生産プロセスの見直し、効率向上・合理化等の取組を継続し、レベルアップを図ることにより上記方向性の達成を目指す。また当連合会ホームページでの働きかけ、講演会等で徹底していく。

平成28年10月11日

団体名：ドラム缶工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

ドラム缶業界での排出抑制手法は、平成27年度までにほぼ全て試みされた。今後3年程度では、積極的かつ大規模な排出抑制投資を行う計画が少ない事もあり、全体として3年から5年の範囲で、平成27年度比で悪化しないように継続した努力を行う。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

・工業会標準色14色の中で、ワインレッドとクリームの2色は、均一な外観を得るために、他の12色と比べて塗料を厚く塗る必要があったが、工業会では塗料会社と協力して、色調を若干変更した近似新色で他の塗料と同程度の膜厚で均一な外観を得られる塗料を開発した。このことによりVOC発生量を削減した。

・個別会社の取組としては、塗装乾燥炉の更新に併せて廃ガス処理装置(脱臭炉＝高温域でVOCを酸化分解させる装置)を新規に設置し(2014FY:2工場)、VOCの削減を図っている。

平成28年7月21日

団体名：(一社) 軽金属製品協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

（記入欄）

VOC排出抑制の取り組みを継続して行い、全体として5年後に平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

※アルミ建築材料の塗装は、平成22年度を底に受注の回復傾向が見られ使用量は増加傾向にある。今後も、2020年東京オリンピックの開催や都市再開発によるアルミ建材塗装製品の受注量の増加が見込まれ、使用量も増えていくことが懸念される。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

（記入欄）

設備の高効率化、塗装条件の見直し、ハイソリッド塗料の採用など従来の取り組みを継続することはもちろんであるが、溶剤系塗料に変えて、VOCを含まない粉体塗料の採用を地道にアルミ建築ユーザーにPRしていく。当協会ではアルミ建築材料の塗装としての粉体塗料を普及させるために、平成21年より粉体塗装の調査研究を始め建築の関係学会で発表を行い、十分屋外環境でも使用できることをPRしており、今後とも調査研究を継続し、環境に優しい粉体塗装の普及に努めていく。最近では徐々にではあるが、粉体塗装を採用した建築物も増えてきている。

平成 28 年 6 月 15 日

団体名：日本プラスチック工業連盟

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された 4 つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として 5 年後（又は 3 年後）に少なくとも平成 22 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

【考え方】

- 1) 平成 22 年度までの取組内容を今後も継続して実施、VOC の排出（抑制）状況を悪化させないように努める。
- 2) 定量的目標値は、当連盟としては設定せず、会員企業の自主的判断に委ねる。
- 3) 作業環境改善などを通じた VOC 排出削減を推奨する。

【目指すべき時期・方向性】 「平成 30 年度までの間、VOC の排出（抑制）状況が、平成 22 年度比で悪化しないように取り組む」

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- 1) VOC 排出抑制に繋がる「生産・作業方法の導入」
- 2) 生産（加工）プロセスの見直し（最適化）、作業の合理化を通じた VOC 排出抑制の推進
- 3) VOC 排出抑制対策を目的に設置した設備・機器の運転・維持管理の強化

平成28年8月2日

団体名：(一社)日本オフィス家具協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

原材料の転換・削減として、低溶剤型塗料や低溶剤型接着剤の検討、又、溶剤塗装から粉末塗装への切り替えの検討。
作業としての、不良の低減、使用量を減らす研究。
設備導入・改良等では、塗装設備の改善、塗装機器の更新。

(方向性と方策)

平成28年7月14日

団体名：(社)日本表面処理機材工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

会員企業一丸となって、今後5年についても平成22年度比の排出状況を悪化させないように努めます。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOC含有低減商品のユーザーへの使用働きかけを行います。
また、大気への排出元となるスクラバーの維持管理に努め、製造工程の見直しや作業効率化に取り組んでまいります。

(方向性と方策)

平成28年7月29日

団体名：一般社団法人日本自動車車体工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後の2020年に2000年度比でマイナス50%に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

・生産プロセスの見直し、作業の合理化を進めて行く

主な排出抑制対応策

排出抑制技術		対策の内容
塗着効率向上	ロボット塗装化	塗装条件の見直し(最適化)
洗浄シンナー対策	使用量低減	日常管理活動での低減
		色替洗浄シンナー低減
	回収	日常管理活動での回収率向上

(方向性と方策)

平成28年7月19日

団体名：日本接着剤工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

3年後に平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①水性形接着剤の移行を推進する。
- ②低・無溶剤型への移行を推進する。
- ③高固形分型接着剤への移行を推進する。
- ④4VOC（トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン）基準適合製品の自主管理制度を推進と厳正に運用する。

(方向性と方策)

平成28年10月28日

団体名：一般社団法人プレハブ建築協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

「環境省が示す主なVOC物質100」のうち、PRTR対象の46物質について、2000年比70%削減である年間のVOC大気排出量502t以下の水準を維持するよう取り組む。

※本年度、エコアクション2020の中間年目標見直しとあわせて、以下の見直し目標を検討。

「環境省が示す主なVOC物質100」のうちPRTR対象物質（従来方向対象物質）および「国内におけるVOCの現状と抑制の取組みについて」において示された物質の年間の大気排出量を、2010年比60%削減の水準を維持するように取り組む。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1) 塗料・接着剤の仕様変更・代替による削減

例) 外壁基材と仕上げ材の接着剤について仕様変更

外壁用原料の仕様変更

設備・床用塗料のトルエンレス・キシレンレス・スチレンレス・エチルベンゼンレス品への切り替え

2) 製造工程見直しによる削減

例) 塗料吹き付けノズル角度の見直しによる塗料使用量の削減

外壁面材の固定方法の変更により、補修用に使用するVOC物質を削減

3) 場内におけるVOC物質の回収等による大気排出量の削減

例) 工程内で排出される化学物質の回収・無害化装置の導入

(方向性と方策)

平成28年7月27日

団体名：印刷インキ工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

会員全体として、平成22年度比で悪化しないよう各社に排出抑制を呼びかけている。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① 施設・設備の密閉化
- ② 代替物質の使用
- ③ 燃焼式及び吸着式処理の拡充

平成28年7月19日

団体名： 日本工業塗装協同組合連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

工業塗装は、VOCなどの化学物質を主体とした塗料類を用い、塗装事業者の多くが噴霧塗装を採用している。塗装工程では、調合希釈時・塗装時・セッティング時・塗膜硬化乾燥時のいずれにおいても、溶剤の飛散や蒸発が発生している。塗装事業者は、発注側の作業指示による溶剤系塗料の選定から、VOC代替塗料への転換が進まず自主取り組みの壁となっている。

これにより、まずは溶剤系塗装における作業方法の「ムダ・ムラ・ムリ」の見直しからVOC削減の取り組みを行い、少なくとも平成22年度排出量より悪化させないよう会員事業所に要請している。今後の方向性としては、環境配慮型のVOC代替溶媒や無溶剤系塗料の採用を追求していく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

日本工塗連では、塗装作業時におけるVOC削減対策として「インプラント方式」の塗装作業改善の現場実施を進めており、容器からの溶剤揮発となる放置や機器洗浄時の飛散洗浄量削減など「すぐにできる改善取り組み」に導入効果を得ている。さらに、会員事業所への現場における改善指導も継続実施しており、さらなるVOC削減を推進する姿勢である。

(方向性と方策)

平成28年7月19日

団体名：(一社) 日本ゴム工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

- ・「平成22年度の排出量（平成12年度対比49%削減）未満である『平成12年度対比50%以上削減』を維持し、参加各社は引き続きVOCの排出削減に努める」ことを目標に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ・生産プロセスの見直し、作業の合理化
（使用量の多い物質の削減、廃液管理の強化など）
- ・VOC排出抑制に繋がる生産や作業方法の導入
（無溶剤工程への転換）
（溶剤の回収および水性化など）

(方向性と方策)

平成28年9月6日

団体名：日本自動車車体整備協同組合連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

組合員を調査対象とした平成22年度のVOCの排出状況は、車体整備市場の需要量の縮小もあり、平成12年度より40.1%削減した。

組合員全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

塗装ブース等からの発生源対策として低圧のスプレーガンの使用を促進し、塗料の塗着効率の向上を図る。

塗料の保管・管理を徹底し、塗料の蒸発ロスの低減を図る。

スプレーガンの洗浄機器の使用の促進し、洗浄作業における揮発防止などの対策を図る。

低VOC塗料の採用を推進する。

(方向性と方策)

平成28年7月25日

団体名： 日本粘着テープ工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1. VOCの大気排出抑制のための大きな設備投資は終了しているため、VOCの漏れがないよう細部に亘る管理をしていく。
2. VOCを使わない製品の開発、販売を継続的行なう。
3. VOCの使用量、排出量の報告を会員に求めることで、VOC削減の意識が働くため継続的に続けていく。

平成 28 年 6 月 22 日

団体名：一般社団法人 全国楽器協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された 4 つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として 5 年後（又は 3 年後）に少なくとも平成 22 年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

今後 5 年間について、平成 27 年度の排出量を超えないよう抑制に取り組む。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の 2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

①VOC 使用量削減

工程合理化、設備改善、技能向上、歩留向上等による製造工程での地道な対策の継続

②使用物質の代替

塗料や接着剤等について、VOC 成分割合がより少ない物質への代替化をさらに推進

③廃ガス処理

廃ガス排気口に有効な VOC 処理装置設置の検討

(方向性と方策)

平成28年7月20日

団体名：日本釣用品工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

VOCの排出量の目標数値の設定は自主判断としながらも、5年後のジクロロメタンの排出量が平成22年度の値を上回らないように作業環境改善に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

新洗浄設備の導入や洗浄工程の改善での効率化を図る。またジクロロメタンにかわるリサイクル性の高い代替洗浄液への移行を検討する。以上よりVOCの排出抑制にむけて努力する。

(方向性と方策)

平成28年10月28日

団体名：日本金属ハウスウェア工業組合_____

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

自主的取組において、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① 未使用時における暴露軽減のための密閉用の蓋を設置するなど大気中への暴露対策（作業現場の公害防止策含む。）を実施。
- ② トリクロロエチレン回収装置の推奨。
- ③ 洗浄対象物の臭素洗浄への移行の検討。
- ④ トリクロロエチレンに変わる代替品の研究。

(方向性と方策)

平成28年10月28日

団体名：日本金属洋食器工業組合

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

洗浄機メーカー等と一緒に、洗浄試験を実施し代替品の研究。
大気中に漏れないように囲いの対策。

(方向性と方策)

平成28年7月29日

団体名：日本ガス石油機器工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。(定量目標は掲げない。また、増産等の影響による変動への是認を前提とする。)

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

①会員会社を対象にVOCの排出量調査（排出量、削減への取組み内容等）を実施し、その結果を会員会社に情報提供していく。

②具体的な取組の方策は、次の事項が主となる。

- ・ 施設・設備・プロセスの改善
- ・ 代替物質への転換
- ・ 設備・工程管理の強化

平成28年12月8日

団体名：一般社団法人産業環境管理協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当協会は特定業種を代表しているわけではなく、自主的取組を行っているが業界団体の自主行動計画に参加していない企業の「排出量報告の受け皿」や、自主的取組を実施したいと考える企業に対する支援を目的に、「VOC 自主的取組支援ボード」を運営している。

このため、自主的取組支援団体として、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で排出量が増加しないよう、支援ボード参加企業に呼びかけていく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

支援ボード参加企業に対しては、広く VOC 対策に関する情報を提供すると共に、未参加企業に対しては、セミナー等の機会を活用して、自主的取組と支援ボードへの参加を呼びかけていく。

また、地域の中小企業からの相談にのりやすくするためには、地元企業と関係の深い地方レベルの一般社団法人や一般財団法人の役割が重要であり、これらの法人と産業環境管理協会がネットワークを組み、互いに応援や情報交換ができる体制を構築することが有効であることから、関係機関と協議しながら当該ネットワークの実現を目指していく。